

<京葉ガス> 有機物(堆肥等)の分析事業を開始

国内初！ 発酵物解析システム「バイオ・トレース」
4月1日より、日環科学(株)と共同で

平成16年3月16日
京葉ガス株式会社

京葉ガスと日環科学株式会社(千葉県船橋市)は、堆肥などの有機物の分析事業「バイオ・トレース」について平成16年4月1日より、農畜産・食品関連分野の事業主様を中心とする一般のお客様さまに向けてご提供を開始します。

「バイオ・トレース」とは、堆肥、畜糞、耕地土壌、発酵物など生産環境のモニタリングシステムで、堆肥などの「複合組成有機物」の性状を「微生物相のDNA解析」ならびに「主要化学物質の定性・定量解析」の両側面から明らかにし、品質の評価、診断のための有用な情報をご提供する、国内初のシステムです(関連特許出願中)。

平成15年10月より京葉ガスと日環科学が共同で事業を展開、平成16年3月末日まで一部ユーズ様に限定したプレサービスを実施しておりましたが、このほどその期間が満了するに当たり正式に一般向けのご提供を開始することといたしました。

従来、農業、畜産、発酵食品製造などの現場では、生産環境の評価や管理のほとんどは「経験」に頼るしかありませんでしたが、最先端の分析装置と技法により、従来の評価方法では実現できなかった客観的かつ具体的な評価、診断が可能となりました。これにより、例えば農業の現場においては、堆肥の発酵管理や品質の評価、および土壌内の微生物生態系の状態を的確に把握することができ、ひいては資源の再利用促進、有機・無農薬化といった、環境保全型農業の普及、技術向上に大きく貢献することが期待されています。あわせて、農畜産分野および食品関連分野における依頼分析としては、これまでにない低コスト化を実現しました。

また、「バイオ・トレース」は、農林水産省が昨年度に実施した委託開発研究()の実用成果であり、京葉ガスとしては初めてのバイオ関連事業です。千葉県北西部を拠点とした産学官連携の新規事業開発として、京葉ガスならびに日環科学が、千葉大学自然科学研究科と共同で、千葉県産業支援技術研究所の技術協力を得て取り組みました。両社は現在も、千葉大学を含む複数の大学や公設試験場などと連携しながら、より有効な新規解析手法の研究、開発を継続して進めています。

「有機性廃棄物のコンポスト製造のための発酵モニタリング技術の開発」

「バイオ・トレース」の詳細については、別添資料ならびにホームページをご覧ください。

京葉ガスホームページ(「新規事業への取組み」のページ)

<http://www.keiyogas.co.jp/cont/development/new/index.html>

日環科学ホームページ(「バイオ・トレース」のページ)

<http://www.je-s.com/bio-trace.html>

「バイオ・トレース」に関するお問い合わせ、ご相談、ご依頼は

京葉ガス 技術研修センター 電話047-325-4500(担当 松本、山本)まで

9:00~17:00にお願いいたします(土・日・祭日を除く)